

## 結 果 の 概 要

### 1. 食品群別摂取量

国民1人1日当たりの食品群別摂取量を年次推移でみると表1のとおりである。特に顕著な減少を示したものに大麦・雑穀、いも類があるが、食生活に大きな影響を与える米類は、昭和32年調査を100]として20年後の52年調査をみると66.9となり33%の減少をみた。米類の摂取量は昭和36年以降漸減しており、前年度調査と比較しても若干(8.5g)の低下を示している。一方、32年調査と比較して52年調査で大きく増加したのものとしては、乳・乳製品(6.3倍)、肉類(4.5倍)、油脂類(3.9倍)、卵類(3.6倍)がある。

表1 食品群別摂取量の年次推移

	摂 取 量 (1人1日当たり: g)					指数 (昭和32年11月=100)		
	32年11月	41年11月	47年11月	51年11月	52年11月	47年11月	52年11月	
穀 類	米 類	350.4	334.7	274.7	243.0	234.5	78.4	66.9
	小 麦 類	58.2	69.4	88.6	91.6	92.4	152.2	158.8
	大麦・雑穀	46.4	7.8	1.8	1.7	1.7	3.9	3.7
い も 類	116.2	69.1	51.2	63.3	61.9	44.1	53.3	
さ と う 類	9.8	14.9	13.0	14.8	14.0	132.7	142.9	
菓 子 類	16.0	24.0	35.9	27.9	27.1	224.4	169.4	
油 脂 類	4.5	10.8	13.3	17.0	17.7	295.6	393.3	
豆 類	70.6	75.6	64.1	68.5	67.7	90.8	95.9	
緑 黄 色 野 菜	52.0	45.7	83.3	56.3	59.3	160.2	114.0	
その他の野菜・茸類	168.5	193.1	199.2	203.5	210.9	118.2	125.2	
果 実 類	64.4	120.2	169.2	170.5	180.9	262.7	280.9	
海 草 類	4.6	3.9	4.4	5.5	5.0	95.7	108.7	
調 味 嗜 好 飲 料	43.5	64.2	116.4	113.4	116.4	267.6	267.6	
魚 介 類	86.7	84.4	92.7	90.1	88.5	106.9	102.1	
肉 類	15.2	34.7	70.8	64.4	68.4	465.8	450.0	
卵 類	11.3	34.0	38.7	40.3	40.8	342.5	361.1	
乳 ・ 乳 製 品	17.0	54.4	95.2	100.6	106.8	560.0	628.2	

### 2. 栄養素等摂取量

(1) 国民1人1日当たりの栄養素摂取量についてみると表2のとおりである。

昭和32年調査を100として52年調査をみると、エネルギーについては変化なく、たん白質は11%増(うち動物性たん白質では56%増)、脂肪は2.4倍となっているが、炭水化物は21%の減を示している。

(2) 栄養素等摂取量を調査対象の平均栄養所要量\* に対する比率でみると、エネルギー、たん白質、鉄、ビタミンA、B<sub>1</sub>、Cは100%を超え、カルシウムとビタミンB<sub>2</sub>は若干下まわっている(図1)。

\* 調査対象の平均栄養所要量とは、性、年齢、労作、妊婦・授乳婦別を考慮した平均1人1日当たりの栄養所要量をいう。